

わが子を幸せに導く哲学 —未来のわが子に会いに行く—

高野 成彦
(大妻女子大学)



「今どきの就活」

- 早期化・長期化そして煩雑化
- エリア総合職
- 就活費用は平均13万円
- 就職氷河期再来ではなく、
就職断層時代の到来
- 大学生二極化時代の到来
- 大学生の1割が中退、4割が就職していない

ワーク 「親も自己分析してみよう」

- 小さい頃になりたかった職業や仕事は？
- 最初に働き出した会社の名前は？
- どうしてその会社を選んだのですか？
- 最初にした仕事は？
- それは希望通りの会社や仕事でしたか？
- 転職した場合は次の会社はどんな会社でしたか？

「愛され力」+「自立力」=「幸福力」

- ハッピーな女の子のうしろには、必ずハッピーなお母さんがいる！
- お母さんが身近なロールモデルになる。
- 「お母さんの楽しみ」が、子どものチャレンジ精神を刺激する。
- 子どもは「身近な人との交流」から「したい仕事」を見つける。

ワーク

- タイムマシンに乗って、25歳のわが子に会いに行ったとしたら、どんな外見でどんなふうで、誰と、どこで、何をして過ごしているのでしょうか？
ビデオでその光景を映し出すように思い浮かべて書いてみてください。

「社会人基礎力」

- 前に踏み出す力～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～(主体性・働きかけ力・実行力)
- 考え抜く力～疑問を持ち、考え抜く力～(課題発見力・計画力・創造力)
- チームで働く力～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)

思春期の発達にブレーキをかける勘違い

- 自立した女性になってほしいのに、いつも友だちとべったり
- 「やるなら徹底的に」が逆効果になる
- 「ボーっとしている」ときの豊かな内面活動
- 女の子は想像以上に「お母さんの期待にに応えたい」と思っている
- 「ほめる」よりも「ともに喜ぶ」

最後に

📖 家族を生きた日々の証
—作り続けたお弁当の
数だけ積み重ねた
幸せの時間—

